



## 蚕影神社と信仰の背景

### 万葉集にも歌われた蚕の発祥地

筑波山の南麓に、上から見ると蚕が這っているような形をした標高200メートルの蚕影山がある。蚕影神社は神郡豊浦の地にあり、この蚕影山の山中に鎮座する。

筑波山の麓では古代から織物業が盛んで万葉集にも歌われ、養蚕のふる里として知られている。当時の幼稚な養蚕技術では、気候が成否のポイント。その点、筑波山南側の山懐に抱かれたこの地域は、温暖な気候

が桑や蚕の生育に適していた。虫は自然の力に支配されやすく、そこに蚕影神社信仰の素地があった。春蚕の掃き立てに入る前、その年の養蚕の繁栄を願って、近郷の農家はもとより、関東一円、さらに山梨、長野、福島、山形の遠方から大勢の参拝者が訪れて数キロにわたって列をなし、たいへんな賑わいであったと言う。

戦後は、化学繊維に押されて需要が激減し、基幹産業として経済を支えてきた養蚕業も急速に衰えていった。静まり返った参道の周囲には、ス

## レンタサイクルでゆく

### 初夏のすそみめぐり

今年筑波山の山里を歩く『筑波古道ガイド』が発行された。「すそみろく」編集委員は早速このガイドをもとに、筑波山口に備えられているレンタサイクルを利用して田井コースを廻ってみる事にした。地元生まれの森田・鮎川両委員はサイクル隊の要、知り尽くしている里の道を通

達として走る。何と心強いことか。

6月4日、真っ赤なレンタサイクルで気分も上々、思わず「サイクリングだ・ヤッホー」と歌い出したくなる。若葉が薫るすそみにいざ出発。燧ヶ池の側をぬけると飯名神社、初巳祭の賑いとは反対に崇高な静けさ。道沿いのテイカカスラ(定家葛)の花

の芳香に囲まれながら薬師堂からガイドにある鮎川家で休憩、丹精こめたさつきの盆栽が見頃。

白井から立野へ。早苗が10センチ程に育った青田が広がる。ゆるやかな上り坂が続く。電動自転車の主は軽やかに息せき切る仲間を追い越して、蔵王権現神社に到着。神社のすぐ近くに新四国八十八ヶ

所霊場があり、八十八体の仏様が安置されている。地元では「ぼっくりさん」と呼ばれているそう。

ここまでで一時間、筑波山を背に眼前には白鷺が田の中を舞い、耳には鶯や雲雀の声、頬には薫風、六月

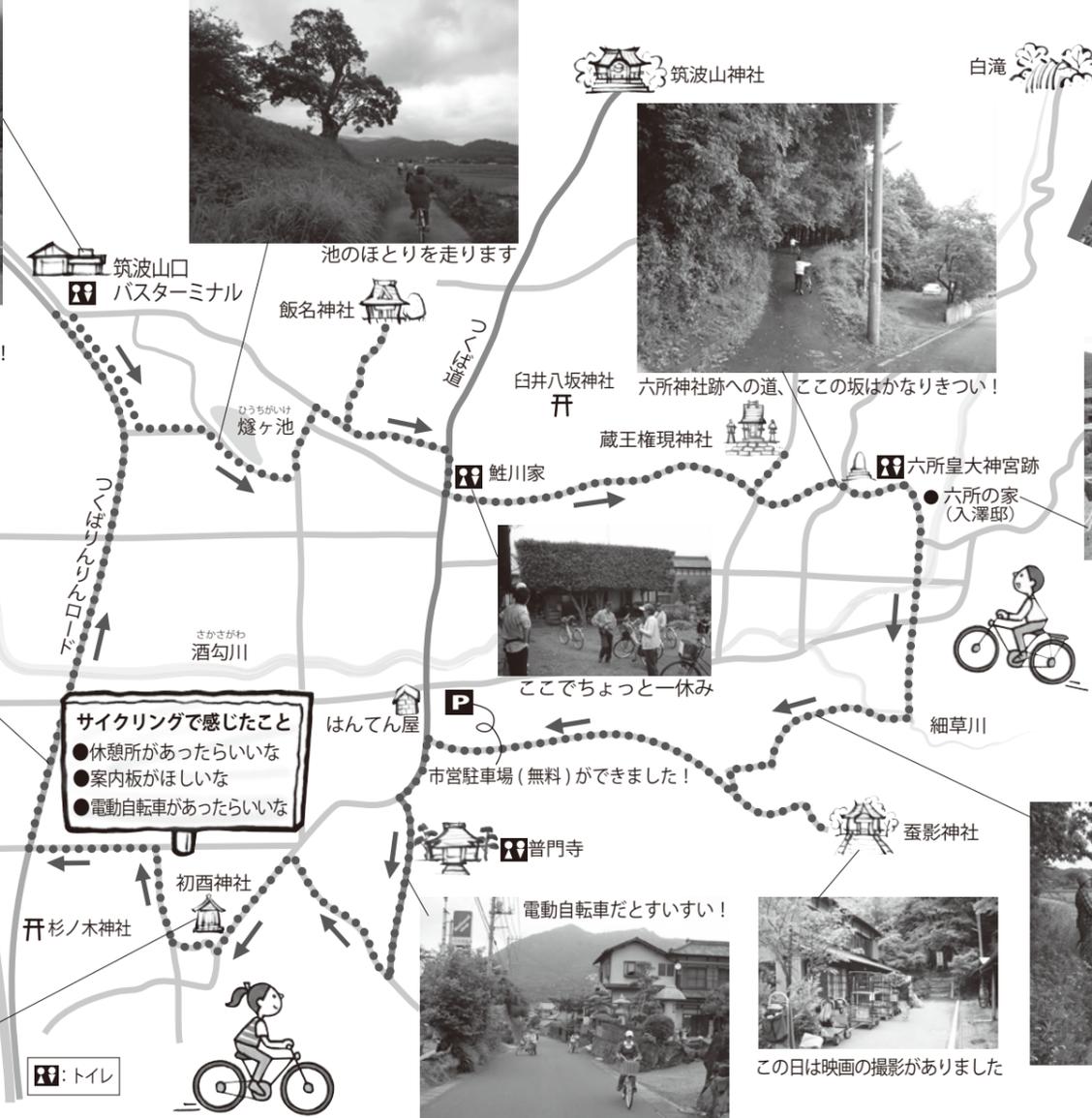
ここから眺める筑波山は絶景！  
みんなてしばしたずむ



茅葺き民家をちよつと拝見  
哀愁ただよ鮎川隊長の背中



この日は映画の撮影がありました



サイクリングで感じたこと  
●休憩所があったらいいな  
●案内板がほしいな  
●電動自転車があったらいいな

つくば市観光物産課より柴原さん、久秋さんも参加いただき、8名で出発！

レンタサイクル情報  
4/1~11/30 9:00~18:30  
大人500円/日  
小人(小学生以下)250円/日  
問合せ:029-866-0510  
関東鉄道(株)つくば北車庫



さあ、帰ろう！



緑に囲まれた初西神社

の里でしか味わえない感覚を満喫する。

さて次は六所大神宮跡。かつては御座替祭の里宮であった所、鬱蒼とした木立が昔の面影を今に伝えている。今度は二峰の均整のとれた筑波山を眺めながら六所から館へ。金色姫伝説の蚕影神社では、今日は映画撮影中とか。映画の完成を楽しみにしながら春喜屋さんでしばし休憩。

いよいよサイクリングも終わりに近づく。神郡の真言宗豊山派の古刹・普門寺に着く。葉桜の参道もまた味わい深い。

少しばかりの坂道を「エイ・ヤツ」とペダルをこぎ漆所の初西神社へ。人家の間にある「初西神社入口」の道標を入ると両脇に桜の古木が並ぶ。漆所の古墳群の中の下り坂を走りスタート地点に戻る。所要三時間。古から変わらぬ風景の中を、時には風に身をまかせ日本人の心の故郷を求めて、ゆったりとした時間を過ごすのも大切である。

石井博子(神郡地区)



自然石を並べて築いた200段の石段

## インフォメーション

### ●夏祭り

神郡祇園祭り 7月20日(日)・21日(月)  
山車、神輿が町内を練り歩きます。

白井八坂神社の御神火 7月19日(土)・20日(日) / 19日は20時頃から三切太鼓が響くなか、境内の御神火場所御神火に火がつけられます。

杉ノ木稲荷万燈 8月17日(日)17時頃から子どもたちが描いた約30基の万燈で神社までの参道を飾ります。

### ●第3回 平沢万灯夏まつり大会

8月23日(土)18時~21時 / 雨天の場合24日(日)に順延 / 土・日雨の場合30日(土) / 復元建物3棟をライトアップし、八幡神社までの600mを180個の万灯で飾り、幻想的な光の回廊を演出します。  
藤みち子民謡ショー他 / 来場者全員にかき氷プレゼント / 「問」平沢官衙遺跡案内所029-867-1584

### ●田楽の集い 稲刈り

9月14日(日)10時~15時 / 雨天中止 / 参加費大人1000円、学生・障害者・小人500円(昼食付) / 筑波山の麓の谷津田で無農薬の米づくり。黒米や赤米を手刈り、あぜで創作「田楽舞い」もあります。

### 「問」NPO法人自然生クラブ

029-866-12192

### ●「すそみの田んぼ」棚田の稲刈り

9月15日(祝)10~15時 / 参加費900円(昼食付) / 生きもののために、沢水だけで無農薬の米づくりをしています。 / 支援金募集中(収穫量に応じお米の配分あり。詳しくはお問合せ) / 「問」NPO法人つくば環境フォーラム029-863-1515